

指定管理施設モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	平戸市紙漣の里ふれあい施設
	所在地	平戸市山中町28番地3
	所管課	農林整備課
指定管理者	名称	紙漣の里振興協議会
	所在地	平戸市山中町28番地3
	業務内容	(1)地域活性化を図るための交流体験の場としての事業 (2)その他必要な管理運営業務
ホームページURL		https://www.facebook.com/sobiraproject/
指定期間		令和4年4月1日～令和8年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館等日数(日)	257	255	236	258	258
利用者数(人)	2144	2188	945	1002	983
前年度比(人)	-	44	△ 1,243	57	△ 19
前年度比(%)	-	102.1	43.2	106.0	98.1
利用料金(千円)	335	275	128	249	186
前年度比(千円)	-	△ 60	△ 147	121	△ 63
前年度比(%)	-	82.1	46.5	194.5	74.7

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

単位:千円

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	料金収入	335	275	128	249	186
	自主事業収入	441	181	31	32	47
	その他の収入	213	255	331	968	559
	計	989	711	490	1249	792
支出	人件費	0	0	0	0	0
	維持管理経費	733	378	282	215	200
	自主事業経費	0	0	0	458	92
	その他の経費	1	2	0	17	3
	計	734	380	282	690	295
収支(収入-支出)		255	331	208	559	497

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
令和4年度は利用者アンケートを実施していない。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
自然とふれあえる施設として満足度が高い意見が聞かれた。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
【取組内容】コロナ感染拡大防止による三密対策の実施及び消毒の徹底 【効果】コロナ感染症の発症案件もなく利用者の安心・安全な施設利用が図られた。

5 経費削減のための取組

具体的な取り組み内容
管理経費について、経費節減となる業者の選定を可能な限り行った。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
コロナ禍により感染拡大防止による利用制限等もあり、施設利用者は昨年度並みだった。コロナ禍が解消されたので、今後の利用者増加に期待したい。

7 所管課による総合評価(太枠にS～Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上	
コロナ禍でも3密を避けるための取組を実施できた。	
経費削減の取組	
管理経費について、経費節減となる業者の選定を可能な限り行った。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
コロナ禍や会員不足で厳しい運営が続いたと思われる。地域活性化につなげる交流体験の場として、会員を増やし、活気のある施設となるよう期待する。	
総合評価	A

※評価基準

- S: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等より優れた指定管理業務を行っている。
- A: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B: モニタリングチェックシートにおいて、「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。